

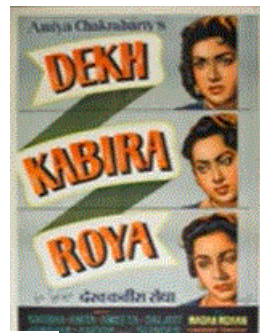
2024年4月リリース予定

<映画史 メディア>

資料 No. 12-2024-407 / Feb. 2024

英国映画協会 (BFI) 所蔵 ヒンディー語映画の歴史

Hindi Cinema: Histories of Film-making c.1950-2010



Included in

注目が高まるインド映画界の中心をになうヒンディー語映画の業界と、より広い社会的・文化的背景に関する資料を集積。映画・メディア研究、またインド史の研究をさらに深めるヒンディー語映画のコレクションです。

【価格体系】 FTEにより価格が異なります。価格は概算参考価格(税抜)です。
FTEは人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-10,000 (Band 1)	FTE 10,001-15,000 (Band 2)	FTE 15,000< (Band 3)
お問い合わせください			

◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇ バックアップ HDD 提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限

本カタログに掲載している Hindi Cinema: Histories of Film-making c.1950-2010 の内容は、リリース前の速報です。内容が変更される場合もございますので、ご了承ください。

G.C.19572

裏面以降もご覧ください→

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店：丸善雄松堂)

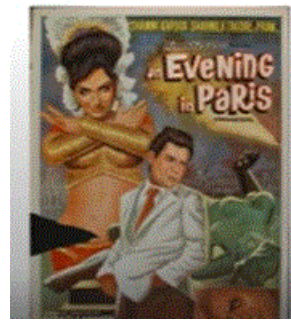
- ◆ 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- ◆ 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- ◆ 正式なお見積もりは別途ご用命ください。

Hindi Cinema: Histories of Film-making c.1950-2010

【編集委員】

- Ulka Anjaria, Brandies University
- Ashvin Devasundaram, Queen Mary University
- Tejaswini Ganti, NYU
- Shohini Ghosh, Jamia Millia Islamia
- Sangita Gopal, University of Oregon
- Lalitha Gopalan, University of Texas at Austin
- Usha Iyer, Stanford University
- Ranjani Mazumdar, Jawaharlal Nehru University

【収録年代】 1950-2010 年の資料が中心



【主なテーマ】

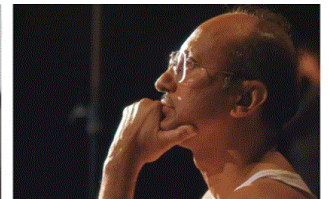
ヒンディー語映画の進化、映画製作への洞察、主なインド映画人の生涯とキャリア、音楽・歌詞・ダンス・振り付け、ヒンディー語映画のスターたち、女性・ジェンダー

【原本所蔵機関】

- 英国映画協会 British Film Institute (BFI)
- ナスリーン・ムンニー・カビール (インド映画研究者・ドキュメンタリー映画製作者) の個人コレクション

【収録資料の種類】

インタビュー動画、写真、ポスター、視覚資料 など



【収録資料一例】 ヒンディー語でのインタビューには英語の字幕付き

- ヒンディー語映画のスターへのインタビュー：デヴ・アナナ、シャミ・カプール、シャルミラー・タゴールなど
- ヒンディー語映画の監督へのインタビュー：マンモーハン・デーサイ、ラメーシュ・シッピー、マニ・コールなど
- ヒンディー語映画の「黄金時代」の形成に貢献した、インド映画界を代表する著名人のインタビュー
- ヒンディー語映画におけるジェンダーの役割や女性の役割を探る資料
- ヴァイバヴィ・マーチャントなどの著名な振付師が、自身のトレーニングや、キャリアの初期に業界で女性が直面した困難について語った資料
- ヒンディー語映画の作詞家・作曲家による創作過程の語り：グルザール、ジャーヴェド・アクタル、ナウシャド・アリ、ラクスマカント＝ピャレラル、AR ラフマーンなど
- 「ボリウッドで大成功する方法」(1999年)を含む、BBC とチャンネル4 の一連のテレビ番組からのインタビュー、映画撮影現場の舞台裏写真
- BFI が所蔵するインド映画ポスター
- 映画撮影現場の舞台裏の写真

AM Primary sources
reimagined

無料トライアル 受付中！ (機関・個人ともに1か月間)

リリース後にトライアル可能です。

お問い合わせ先：丸善雄松堂株式会社 企画開発統括部

e-support@maruzen.co.jp



■ アミスタッド研究センター所蔵 ACOA 関係資料

2024 年 11 月 Mod. 1 リリース予定

American Committee on Africa



アミスタッド研究センター所蔵の American Committee on Africa (ACOA) 関係資料を収録し、社会正義、公民権、脱植民地化、米国の反アパルトヘイト運動、冷戦下のアフリカ、外交、人権まで、幅広いテーマに焦点を当てるデータベース。ACOA の記録は、20 世紀のアフリカ解放闘争、アフリカ独立運動の重要人物に関する貴重な資料が豊富に含まれている。

■ アパルトヘイト データベース

Archives Direct Sources from The National Archives, UK

Apartheid South Africa Part 4 1981-1988

Part 1-3 (1948-1980) 既刊



英国国立公文書館に機密文書として所蔵されていた貴重な一次資料を収録。南アフリカは 1961 年までイギリス連邦のひとつであり、イギリスの企業や投資家は南アフリカの経済に深く関与し、ロンドンには多くの亡命者が集まり、反アパルトヘイト運動の拠点でもあった。アフリカや人種問題に関心のある研究者、学生にとってはもちろん、イギリス現代史の研究においても重要なデータベースである。

■ 英国外務省によるインドシナ関係資料

Archives Direct Sources from The National Archives, UK

Conflict in Indochina: Foreign Office Files for Vietnam, Laos and Cambodia

Module II: Escalation, Reunification and Withdrawal, 1965-1979

2024 年 5 月リリース予定



英国公文書館の外交文書より、第二次世界大戦後のインドシナ半島に関する資料を収録。ベトナム、ラオス、カンボジアの政権と国内の政治状況、インドシナへのアメリカの介入の増加、ラオスの中立に関する国際会議、フランスの脱植民地化以降の不安定な状況など、インドシナ半島の様々な側面を捉える一次資料。

Module I: Crisis and Upheaval, 1959-1964 既刊

■ 大英図書館所蔵 イギリス東インド会社文書

East India Company

Module 1-5 既刊

Module 6: India Office Records, F: The Board of Commissioners: Establishment of the Board

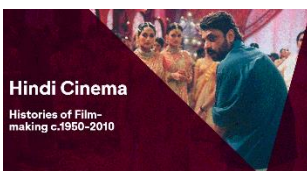


東インド会社の研究において最も重要な一次資料アーカイブである大英図書館所蔵のインド省文書をデジタル化する一大企画。南アジア政治史・経済史、インド文化、インド史を洞察するうえでも極めて貴重な資料群。好評を博している Mod.1-5 に続く Mod.6 は、India Office Records のファイル F を収録。

■ 英国映画協会(BFI)所蔵 ヒンディー語映画の歴史

2024 年 4 月リリース予定

Hindi Cinema: Histories of Film-making c.1950-2010

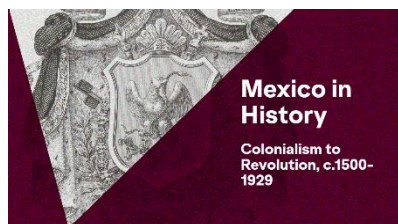


注目が高まるインド映画界の中心をになうヒンディー語映画の業界と、より広い社会的・文化的背景に関する資料を集積。映画・メディア研究、またインド史の研究をさらに深めるヒンディー語映画のコレクション。ヒンディー語でのインタビューには、英語の字幕付き。

■カリフォルニア大学バークレイ図書館所蔵 メキシコ史コレクション

Mexico in History: Colonialism to Revolution, c.1500-1929

2024 年秋リリース予定



スペインと先住民との接触から、植民地支配、スペインからの独立(1821年)、ファレスの自由主義政権、メキシコ革命(1910-1917年)まで、メキシコ史に関する資料を総括的に収録。社会的、宗教的、政治的変化を数百年にわたりとらえる資料群は、ラテンアメリカ研究、宗教学、紛争史研究などに寄与する。収録資料は主にスペイン語、先住民族の言語も含まれ、メタデータは英語に翻訳され、検索機能が強化されたプラットフォームも、本データベースの特徴となっている。

■近代オリンピックデータベース

The Olympic Movement: Sport, Global Politics and Identity



1896年から1992年までの近代オリンピックの発展を網羅し、今日私たちが知る世界最大のスポーツイベントへの変遷を伝える一次資料集。重要な社会的・政治的現象に光を当てながら、20世紀のオリンピック・ムーブメントの背後にある当初のイデオロギーを検証。近代オリンピックの歴史だけでなく、1890年代以降、スポーツが世界中の文化、社会、政治において重要性と影響力を増していったことを、包括的な文書記録として提供する。

■リヴァリ・カンパニー資料から見る近世ロンドンの交易

2024 年 12 月リリース予定

Trade in Early Modern London Module I: Livery Company Records, 1450-1750



ロンドンが近代都市へと転換するにあたり、経済、政治、社会、文化において大きな役割を担ったギルドに起源をもつリヴァリ・カンパニー。Mod. Iでは、名誉革命、王権と議会の対立、疫病の流行、ロンドン大火など、15-18Cの英国・ロンドンに、リヴァリ・カンパニーの資料からせまる。

■19-20世紀 消費社会の変遷史データベース

2024 年秋リリース予定

The Transformation of Shopping: Department Stores, Social Change and Consumerism, 1830-1994



工業化社会における店舗や買い物習慣は、消費者ニーズ、社会的期待、技術進歩の変容により、時代や場所によって様々に変化してきた。本データベースは、企業のアーカイブ、業界誌、組合の記録など、160年以上にわたる小売業の歴史を網羅。ビジネス、経済、ジェンダー、社会史、ファッション、美術史、マーケティング、広告、デザイン、消費文化など、さまざまな側面からとらえられるコレクションとなっている。

■女性たちが綴った 17-20 世紀生活史コレクション

Women's Voices and Life Writing, 1600-1968

2024 年 2 月リリース済



17-20世紀半ばの3世紀以上にわたり、イギリスやアイルランドで綴られた女性の日記やオーラル・ヒストリーを収録。多様な背景を持つ何百人もの生き生きとした記録は、ジェンダー、階級、人種、障がい、セクシュアリティ、LGBTQI+、宗教、魔女裁判、参政権獲得などの幅広いテーマに関する貴重な資料となっている。収録資料の言語はおもに英語ですが、フランス語、ドイツ語、ウェールズ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語なども含む。